

幼児教理問答

Toddler's Catechism

初めての聖書教理

Introduction to Bible Doctrine

契約の子供たちのために

For Covenant Infants

J. J. リム 著

J.J. Lim

麻希・ヴァンダホフ 訳

Translated by Maki Vanderhoff

ジュオン・キム、魚本つる子 校閲

Proofread by Jooun Kim and Tsuruko Uomoto

幼児教理問答

Toddler's Catechism

(初めての聖書教理)

(Introduction to Bible Doctrine)

契約の子供たちのために

For Covenant Infants

牧師 J. J. リム 著

By Ps J.J. Lim

デイヴィッド・ヒッグズ 牧師の提案採用

With suggestions by Rev. David Higgs

麻希・ヴァンダホフ 訳

Translated by Maki Vanderhoff

ジュオン・キム、魚本つる子 校閲

Proofread by Jooun Kim and Tsuruko Uomoto

2013年版

Toddler's Catechism (Introduction to Bible Doctrine)

By Ps. J. J. Lim;

With suggestions by Rev. David Higgs

@ 2013 by Pilgrim Covenant Church

First published 2011

Second edition 2013

Published by Gracia Dei Sola Media

Blk 203B, Henderson Road, #07-07, Singapore 159546

Website: www.gdsmedia.org

Email: gdsmedia.sg@gmail.com

All rights reserved Printed in Singapore

はじめに

教会の子供達の教育に問答書を用いることは、古くから行われており、長い間成功をおさめている聖書的な方法です。そこで、私たちは、教理問答、あるいは、信条問答のほかに、聖書歴史問答をも含む問答形式を採用しました。

子供達は、大抵、初級ブック I にある答えを復唱できるようになったら、この形式を学び始めます。その前は、「幼い子供のための教理問答」から毎週一問ずつ教えられ、聖書のお話を聞かせてもらえるクラスに参加します。

しかし、早く子供達に初級レベルを始めさせたいと考える親御さんたちの中には、幼児クラスから、初級ブック I のクラスへのギャップが大きく、移行が大変である、と思う方々もいらっしゃると思います。

この問答小冊子は、そのギャップを縮めることを目的に作られており、やはり「幼い子供のための教理問答」に基づいています。子供達は本問答書においても一週間に一問暗記するように指導されますが、子供達が暗記している内容を（できるだけ）しっかり理解することができるように、親御さんを助ける補足問題が付いています。

もしこの小冊子を用いておられるのであれば、お子さんにこれらの補足問題を暗記させる必要はありません。しかし、クラスの先生が同じ質問を用いて子供達を指導しますので、あなたのお子さんがあなたと一緒に前もって学んでいたとしたら、おそらくクラスをより一層楽しむことができるでしょう。

主が、子供達に主の道を教える私たちの小さな努力を祝福してくださいますように。

牧師 J. J. リム

追記 誤り、改善の提案がありましたら、jilim@pilgrim-covenant.com までお知らせください。

質問1： だれがあなたを造つくりましたか。

答： 神かみさまです。

補足の質問：

1. あなたのお名前は何かですか。
2. だれが〔子供の名前〕を造りましたか。
3. お父さんがあなたを造りましたか。
4. お母さんがあなたを造りましたか。
5. 神さまがあなたを造られましたか。
6. 〔紙飛行機を子供の前で作って〕だれがこの紙飛行機を作りましたか。
7. だれがあなたを造りましたか。

質問2： 神さまは、ほかに何を造られましたか。

答： すべてのものです。

補足の質問：

1. 神さまが [子供の名前] を造られましたか。
2. 神さまが [子供があなたを呼ぶ呼び方] を造られましたか。
3. 神さまは、木を造られましたか。
4. [象の絵や写真、おもちゃの象などを見せる；他の動物や虫も同じように] 神さまが象を造られましたか。
5. 神さまが太陽を造られましたか。月は？星は？地球は？
6. 神さまが造られたものを何か言ってみてください。 [もし、子供が、車や鉛筆といった人間の作ったものを答えても、心配しないでください。子供は成長するにつれて、きちんと真実が理解できるようになりますので、そのまま訂正せずにおいて大丈夫です。しかしもし、子供が理解できる段階にある、と思われた場合は、神さまが材料を造られ、神さまが物を造る人間を造られたことを説明してあげてください。ただ、クラスでそれをすると、助けになるよりも混乱させる可能性があるので、教室内では避けてください。]
7. だれがあなたを造りましたか。神さまは、ほかに何を造られましたか。 [これは教理問答の答えに戻るための質問です。]

質問3： 神さまは、なぜすべてのものを造られたのですか。

答： 神さまご自身の栄光のためです。

補足の質問：

1. 神さまが山を造られましたか。〔山の絵や写真を見せてください〕
2. 山は素晴らしいと思いますか。
3. 神さまは、山よりも素晴らしいですか。
4. 神さまがライオンを造られましたか。
5. 〔ライオンの絵や写真を見せてください〕ライオンは力強いと思いますか。
6. 神さまはライオンよりも力強いですか。
7. 〔本物の花を見せてください〕神さまが花を造られましたか。
8. この花はきれいだと思いますか。
9. このお花を造られた神さまは賢く知恵のあるお方ですか。
10. 神さまは私たちに、神さまは素晴らしく、力強く、知恵のあるよいお方だということを知ってもらいたいのです。これが「神さまがご自身の栄光のために、すべてのものをお造りになった」と言っているのと同じことです。

質問4： どこから神さまの^{かみ}ことを^{まな}学ぶことができますか。

答： ^{せいしょ}聖書からです。

補足の質問：

1. 私に聖書を見せてください。
2. あなたには自分の聖書がありますか。
3. [新聞を見せてください。] 神さまについて新聞から学ぶことができますか。
4. [学校の教科書を見せてください。子供たちを混乱させないために、クリスチャンの本は使わないでください。] 神さまについてこの本から学ぶことができますか。
5. [本と雑誌を何冊かと聖書を見せてください。] これらの本のうち、どの本から神さまについて学ぶことができますか。[子供たちに選ばせてください。]
6. 聖書から何を学ぶことができますか。[子供たちは様々な答えを言うかもしれませんが、神さまについて学ぶというところに導いてください。]
7. あなたは神さまについて学びたいですか。[聖書を読むことや、聖書が読まれている時には注意深く聞くこと、などについて話してください。]

質問5： せいしょ なん 聖書とは何ですか。

答： かみ 神さまのみことばです。

補足の質問：

1. 私たちはどこから神さまについて学ぶことができますか。
2. [聖書を何冊か混ぜて、本を積んだものを持ってきてください。] 聖書を選んでください。
3. 聖書から、私たちは何を学ぶことができますか。
4. だれが聖書を書いたのですか [子供たちの理解度と、どれだけ教えられているかによって、ここでは様々な答えが出るかもしれません。しかし、ここでの目的は、「聖人たち」が聖書を書いたのではあっても、聖書は神さまのみことばであることを、子供たちに理解させることです。]
5. [聖書を見せてください。] 聖書にはだれのことばが書いてありますか。
6. [本を一冊見せてください。] この本にはだれのことばが書いてありますか。
7. [聖書とほかの雑誌など、色々な本を使って、補足質問6を繰り返してください。]
8. もし聖書が神さまのみことばであるならば、私たちは聖書を読むときに、どのようにしなくてはなりませんか。

質問6： ^{かみ} ^{なんにん} 神さまは何人いらっしゃいますか。

答： ^{ひとり} ^{まこと} ^{かみ} ただお一人の真の神さまだけです。

補足の質問：

1. [数を数える練習] あなたには指が何本ありますか。[目はいくつ、耳はいくつ、手は？——二つ以上あるもの]
2. [さらに数える] あなたにはお父さんは何人いますか。[お母さんは何人、など]
3. 太陽を見たことがありますか。太陽はいくつありますか
4. 神さまは何人いらっしゃいますか
5. 神さまはお一人だけだ、とどうしてわかりますか。[聖書がそう教えているからです。]
6. たくさんの神さまがいる、ということが出来ますか。[偽物の神がたくさんいる、という子供たちもいるかもしれませんが、まだその話はしないでください。ただお一人の真の神さまについて、話してください。]
7. 神さまが3人いると言うことが出来ますか。

質問7： 木^きや石^{いし}でできた偶像^{ぐうそう}はどうですか。

答： それは偽^{いつわ}りの神々^{かみがみ}です。

補足の質問：

1. 神さまは何人いらっしゃいますか。
2. 何が本当で何が偽りかを知っていますか。 [『本物』『偽物』など、同義語を使って説明してください。]
3. [瓶に入った本物の魚と、おもちゃの魚をいくつか見せてください。] この中のどれが本物ですか。この中のどれが本当のものですか。この中のどれが偽物ですか。 [葉っぱや果物など他のものを使って繰り返してください。魚や葉っぱなどの絵を描いて切って使ってもよいですが、写真は使わないようにすることを覚えておいてください。]
4. 真の神さまは何人いらっしゃいますか。
5. 木や石でできた偶像はどうですか。木や石でできた偶像を見たことがありますか。 [必要であれば、ここでは写真や雑誌の切り抜きを使っても結構です。]
6. 偽りの神々に祈る人が沢山います。あなたは、偽りの神々に祈るべきでしょうか。偽りの神々は、あなたの言っていることを聞くことができるでしょうか。祈る人々を助けることができるでしょうか。
7. [補足質問7がよくわかるように、人形を使ってください。人形に話しかけることによって、人形が動くようにできるか、子供たちにたずねてみてください。]

質問8： 神さまには人格がいくつありますか。

答： 3つです。

補足の質問：

[下記の質問は、親がしっかり子供たちに神さまには3つの人格があることを理解させる補助として作られたものです。これらの補完的質問は、三位一体の教理について誤った印象を与える、と反対する人々もいるかもしれません。しかし、これらの質問は三位一体の全ての教理を教えるために作られたものではない、ということを念頭に置いてください。この時点で子供たちに要求されることは、神は唯一であること、しかしまた、別の意味では三つである、ということが分かることです。]

1. あなたには手がいくつありますか。
2. あなたのそれぞれの手には、指が何本ありますか。
3. あなたには、家族がいくつありますか。 [家族、という言葉の意味が分からない場合は、多くの子供たちにとって難しい質問かもしれません。]
4. [子供が補足質問3に答えることができたなら] あなたの家族には何人いますか。
5. 神さまは何人いらっしゃいますか。
6. 神さまには、いくつの人格がありますか。
7. 神さまには、二つだけ（四つ、五つなど）の人格がありますか。

質問9： 神さまの三つの人格とはどなたですか。

答： 父、子、聖霊です。

補足の質問：

1. 神さまは何人おられますか。
2. 神さまにはいくつの人格がありますか。
3. これらの人格はどなたですか。
4. 父とはどなたですか。〔その方は私たちの天のお父さまです。私たちがお祈りをするとき、その方にお話ししているのです。〕
5. 父は神さまですか。
6. 御子のお名前を知っていますか。
7. 御子は神さまですか。
8. 聖霊は神さまですか。
9. 神さまは何人いますか。
10. 神さまにはいくつの人格がありますか。

質問10： 神さまはどこにいらっしゃいますか。

答： どこにでもいらっしゃいます。

補足の質問：

1. 私たちはどこから神さまのことを学ぶことができますか。
2. 神さまは何人いますか。
3. 木や石で作られた偶像はどうですか。
4. 偶像はどこで見かけますか。 [寺やコーヒーショップやおばあちゃんの家など]
5. 神さまはどこにいらっしゃいますか。
6. 神さまは天にいらっしゃいますか。
7. 神さまはここにもいらっしゃいますか。
8. オーストラリアにもいらっしゃいますか。 [中国、アメリカなど]
9. もし山[海の中、月など]に行ったら神さまはそこにもいらっしゃいますか。

質問 1 1 : 神さまを見ることが出来ますか

答 : いいえ。でも神さまは私をみることが出来ます。

補足の質問 :

次に挙げる質問は、子供たちが、彼らには神さまが見えなくても、神さまは常に私たちを見ることができ、そして私たちが何をしているのかご存知であることが分かる助けになるように作られたものです。ほとんどの幼児はまだ、目に見えないものが存在するとか、しないとか、ということ論理的に考えることができません。これは、彼らが存在を目で見たものと関連付けて考えるから、というよりはむしろ、ほとんどの幼児たちが「存在」という観念をまだ真に理解していないからなのです！こういうわけで、子供は普通、神さまの存在については疑問に思わないのです。幼い子供たちはサンタクロースやトナカイの存在について質問することさえないかもしれません。ましてや、自分たちが神さまに似せて造られたものであるということ分かっていたら、神さまの存在に疑いをもつことはどれだけ少ないことでしょうか。こういうわけで、私たちには見えなくても存在しているものがある、ということ証明する質問をここには含みませんでした。しかし、先生が、子供が尋ねるのでそのような証明が必要であると考えるのであれば、この概念を教える一つの方法として、硬貨を一つ手に持って、それを隠してください。そして、「硬貨が見えますか」と尋ねてください。子供が「いいえ」と答えたら、子供には見えなくても、手の中には硬貨がある、ということ説明してください。これはもちろん、答えの後半の証明にはなりません、それは証明する必要はありません。

1. 私たちは神さまのことを、どこから学ぶことができますか。
2. 神さまは何人いらっしゃいますか。
3. 神さまはどこにいらっしゃいますか。
4. 神さまはこのお部屋にもいらっしゃいますか。
5. あなたは神さまを見ることが出来ますか。
6. 神さまはあなたの名前を知っていらっしゃいますか。
7. 神さまはあなたが何をしているか知っていらっしゃいますか。

質問12： ^{わたし} 私たちはどのように、^{どうぶつ} 動物と^{ちが} 違うので
しょうか。

答： ^{かみ} 神さまの^{みすがた} 御姿が^{わたし} 私たちのなかに
あります。

補足の質問：

1. 人間の男の子や女の子は、サルやロバと何も違わない、という人々もいます。あなたは、サルやロバとはちがいますか。
2. あなたはどのように、サルやロバとは違うのですか。[次の問と答に導いてください。あなたはどのように、動物とは違うのですか。私のなかには神さまの御姿があります。]
3. あなたが「神さまの御姿が私のなかにあります」と言う時、それはどういう意味ですか。[このように提案してください。あなたには魂がある、という意味です。動物には魂がありません。]
4. あなたは魂とは何か知っていますか。[このように提案してください。目で見ることのできない、あなたの中にあるものです。魂があるから、考えたり、話したり、笑顔になったり、祈ったり、何が正しいことで何が悪いことか、を知ることができるのです。]
5. サルには魂があると思いますか。[注：動物には理性的魂ではなく、動物魂がある、と考える神学者もいます。子供たちをこの考え方で混乱させないでください。幼い子供たちに話す時には、いつでも**理性的魂**という意味で話してください。]
6. サルには魂がないと、どうして分かるのですか。あなたはサルが祈っているのを見たことがありますか。サルが笑っているところを見たことがありますか。サルがあなたに、こんにちは、と言ったことがありますか。

質問 13： ^{さいしょ} ^{にんげん} 最初の人間はだれでしたか。

答： アダムです。

補足の質問：

1. 「アダム」という名前は、聖書のどこに出て来るでしょうか。〔最初の数ページに出てきます。〕
2. アダムは動物でしたか。男の人でしたか女の人でしたか。
3. あなたはアダムがどんな姿をしていたか、知っていますか。〔いいえ。彼はずっとずっと昔に生きていました。あなたが生まれる前、あなたのお父さんが生まれる前、他のだれも生まれる前に生きていました。〕
4. 神さまはどのようにしてアダムを造られましたか。〔地の塵から造られました。〕
5. あなたには、地の塵から人間を造ることができますか。〔オプション：見せるために、粘土で人間の型を作ってください。〕
6. 神さまには、地の塵から人間を造ることができますか。〔はい。そして、神さまは彼に魂を与えられました。〕
7. 神さまは女の人も造られました。その女の人の名前を知っていますか。
8. あなたには、おじいちゃんとおばあちゃんがいますか。アダムとエバは、私たち全てのひい、ひい、ひい、ひい・・・おじいちゃんとおばあちゃんだと知っていますか。

質問14： アダムは創造されたとき、どのような状態
でしたか。

答： よい状態でした。

補足の質問：

[以下の質問は善対悪という概念に触れており、それは実際は小さな子供たちには随分難しい概念です。この年齢では、不従順、犯罪は悪いということは理解できるでしょうが、自分や全ての人々が悪いということを理解することは難しいでしょう。これからの質問の中で、そのことを取り上げるようにしています。しかし今の時点では、子供たちがアダムは神さまに従順であった、ということが分れば十分です。]

1. 強盗は、よいですか、悪いですか。人を殺すことは、よいですか、悪いですか。
2. なぜ強盗は悪いのですか。[法律を破っているからです。]
3. 警察官は、よいですか、悪いですか。[「よい」という答えを求めてください。]
4. なぜ、警察官はよいのですか。[法律を守っているからです。]
5. [子供の名前] ○○ちゃんは、よいですか、悪いですか。[大体の子供は、親が思い出させたとしても「よい」と答えるでしょう！私たちは生まれながらにして*ペラギウス主義者なのです！しかし、ここではその答えについて議論するのではなく、次の質問に導くのに使ってください。] あなたは、いつもよい子ですか。[いいえ]
6. どんな時に、あなたは悪いのですか。[もしくは、お母さんやお父さんに従わない時、あなたはよいですか]
7. なぜ、アダムはよい状態だったのですか [なぜなら、いつも神さまに従順であったからです。]

訳注：*ペラギウス主義者——原罪によって人間の状態は影響を受けておらず、人間が神さまの特別な助け無しに、自分の意思で善と悪を選ぶことができる、と信じている人々。

質問15： アダムはずっと、よい状態じょうたいのままでしたか。

答： いいえ、彼は罪かれ つみ おかを犯しました。

補足の質問：

1. アダムは、創造された時、どのような状態でしたか。 [よい状態でした。]
2. なぜ、よい状態だったのですか。 [神さまがアダムをよいものとして造られたからです。アダムはいつも、神さまに従いました。]
3. エデンの園には、2本の実のなる木がありました。この2本の木の名前を知っていますか。
4. [りんごか、みずみずしいマンゴーを見せてください。] 善悪の知識の木には、このような果物がなっていました。美味しそうですか。
5. アダムとエバは、それを食べてもよかったのですか。 [いいえ。]
6. アダムはそれを食べましたか。 [はい。]
7. それは、正しいことでしたか。 [いいえ。]
8. その木から果物を食べたとき、アダムは神さまに従いましたか。 [いいえ。]
9. [私たちが従わない時、私たちは罪を犯しているのだ、ということを説明してください。次の質問で、またこのことに触れます。]

質問16： 罪つみとは何なんですか

答： 神かみさまにしたが従したがわないことです。

補足の質問：

1. 神さまはアダムに、善悪の知識の木の実を食べないようにと言いました。アダムは、従いましたか。
2. アダムが神さまに従わなかった時、彼は罪を犯しました。あなたが神さまに従わない時はいつも、罪を犯しているのだと知っていますか。
3. あなたは、罪を犯したことがありますか [もし「はい」と答えたら、「何をしたのですか」と聞いてください。もし「いいえ」と答えたら、例をあげて、正しい答えに導いてください。]
4. 神さまは私たちに、しなければならないこととしてはいけないことについて、沢山の教えを与えられていました。これらの教えはどこで見つけることができますか。
5. これらの教えの例をいくつか挙げてくれますか。
6. あなたが神さまに従わなかったら、神さまはあなたを喜んでいると思いますか。
7. 神さまに罪を犯した、と知る時、あなたはもしなければいけませんか。

質問 17 : 罪にたいする罰は何ですか。

答 : 死です。

補足の質問 :

[この質問で、初めて死のことが出てきますが、ここでは死ではなくむしろ罪に焦点をあてますので、死については次の質問で取り扱います。]

1. あなたがお父さんに従わない時、お父さんはどうしますか。 [子供が「お父さんは私を罰します」など、そのような答えが出た場合、お父さんはどのように罰するのかを尋ねてください。]
2. お父さんに従わないのは、悪いことだと思いますか。お父さんがあなたを罰するのは正しいことですか。
3. アダムは神さまに従いませんでした。どのように、従わなかったのですか。 [善悪の知識の木から食べたことによってです。]
4. アダムが神さまに従わなかったのは、悪いことですか。 [神さまに従わないことは、私たちの親に従わないことより、もっとひどいことであることを指摘してください。]
5. 神さまは、アダムが従わなかったことを、怒ったと思いますか。 [もし子供が「いいえ」と答えたら、このように尋ねてください : お父さんがあなたに、何かをしてはいけない、と言ったのに、言うことを聞かなかったら、お父さんは嬉しいでしょうか。]
6. 神さまはどのようにアダムを罰したか知っていますか。 [アダムはエデンの園から追い出され、死ななくてはなりませんでした。]
7. なぜアダムは死んだのですか。 [罪を犯したからです。]

質問18： アダムが罪^{つみ}を犯^{おか}した後、何^{あと}が起^{なに}こりましたか。

答： すべての人^{ひと}が、アダムにあって死^しにます。

補足の質問：

〔この質問では死に焦点をあてます。子供たちはその経験によって、死への理解度が違ってきます。たとえば、愛する人を失った経験のある子供や、亡くなった方とのお別れ会に参列したことを覚えている子供は、そのような経験のない子供よりも、おそらく死をより理解することができるでしょう。だれかの死を経験することによって以外は、子供たちが死を理解することはできないので、ここでの補足質問は、子供たち、あるいは少なくともグループのだれかが、死に直面したことがあるものとして進めていきます。ここでの質問では、混乱を避けるため動物の死には言及していませんが、必要であれば、取り上げても構いません。〕

1. おじいちゃんのお父さんに会ったことがありますか。その人がどうなったのか、知っていますか。〔できれば子供あるいは子供たちが知っている人に、質問を変えてください。〕
2. 死んだ人を今まで見たことがありますか。だれでしたか。その人は、話すことができ了吗か。手を動かすことができましたか。
3. 私たちはみな、いつかは死ぬということを知っていますか。〔私たちの生きている間に、主が戻ってくるのでなければ、私たちはみな死にます。〕
4. なぜ、みんな死ななくてはいけないのか知っていますか。〔アダムが罪を犯したからです。私たちもみな罪人だからです。〕
5. あなたもいつかは死ぬと思えますか。それはなぜですか。〔アダムが罪を犯したからです。私も罪人であり、罪にたいする罰は死だからです—質問17を見てください。神さまに選ばれた者にとっては、死は罰ではなく、栄光への入り口です。しかし、今の時点では、その違いを説明するのは複雑すぎます。質問24にて、再びこの問題に触れます。〕
6. あなたが死んだ時、どうなるか知っていますか。〔あなたの身体はお墓に入りますが、魂は天国か地獄かに行きます。天国と地獄について、少し話してください。〕
7. だれが天国に行くのか知っていますか。〔主イエス・キリストを信じる者たちだけです。〕

質問19： だれが^{わたし}私^{つみ}たちを^し罪と^{すく}死から^だ救い出すことができるのですか。

答： ^{しゅ}主イエス・キリストだけです。

補足の質問：

1. アダムがどのように罪を犯したのか覚えていますか。〔神さまに従わなかったのです。善悪の知識の木の実を食べました。〕 アダムが罪を犯した後、何が起こりましたか。〔すげての人が、アダムにあって死ぬことになりました。〕
2. あなたは、罪人ですか。
3. あなたも死にますか。
4. 死んだ後、あなたはどこに行くのですか。〔私の体は地に戻りますが、私の魂は天国か地獄に行くのです。〕
5. 死んだら、あなたはどこに行きたいですか。
6. だれがあなたを天国に連れて行くことができるのですか。〔イエス・キリストだけです。〕
7. 主イエス・キリストだけが私たちを天国に連れて行ってくださることができるのです。この方だけが私たちを罪と死から救い出すことができるからです。
8. あなたは、主イエス・キリストを信じますか。

質問20： ^{しゅ}主イエス・キリストとは、だれですか。

答： ^{かみ}神の^{みこ}御子です。

補足の質問：

1. だれが私たちを罪と死から救いだすことができるのですか。〔主イエス・キリストだけです。〕
2. 主イエス・キリストとは、どなたなのか知っていますか。
3. あなたは、主イエス・キリストを今まで見たことがありますか。〔いいえイエスさまがこの地上で生きていたのは、ずっとずっと昔のことです。〕
4. 私たちは、主イエスさまのことを、どこで読むことができますか。〔聖書です。〕
5. 主イエスさまがなさったことをいくつか、言ってくれますか。〔病気の人を癒されました。目の見えない人を、見えるようにされました。死んだ人を、生き返らせました。嵐を鎮められました。死から、よみがえられました。など。〕
6. あなたにも、そのようなことができますか。
7. 主イエスさま、なぜこれら全ての素晴らしいわざをなさることができたのか、知っていますか。〔イエスさまは神さまだからです。または、イエスさまは神さまの御子だからです。〕

質問21： 主イエスさまは罪つみを犯おかしたことがありましたか。

答： いいえ、イエスさまだけが、罪つみを犯おかしたことはない方かたでした。

補足の質問：

1. 罪とは何か、覚えていますか。〔神さまに従わないことです。〕
2. アダムは罪を犯しましたか。どのように罪を犯したのですか。
3. ほかにどのような方法で人は罪を犯しますか。
4. 罪を犯す人は罪人です。あなたは罪人ですか。お母さんは罪人ですか。お父さんは罪人ですか。先生は罪人ですか。牧師は罪人ですか。
5. 主イエス・キリストは罪人ですか。
6. だれか他に罪を犯したことの無い人を知っていますか。
7. 主イエスさまが罪を犯したことがなく、またこれからも決して罪を犯すことが無いのはどうしてですか。〔イエスさまは神の御子だからです。〕

質問22： イエスさまはご自分の民のために、何をされましたか。

答： イエスさまは彼らの罪のために、死なれました。

補足の質問：

[主イエス・キリストは、ご自分の民のために、生きられ、苦しまれ、そして死なれました。しかし、この質問では、イエスさまが私たちの身代わりとなって罪の償いをされたことに焦点をあてます。]

1. 罪に対する罰が何であったか、覚えていますか。 [質問17ー死です。]
2. 主イエスさまは、罪を犯されたことがありましたか。 [質問21ーいいえ、イエスさまだけが、罪を犯したことの無い方です。]
3. 主イエスさまは、罰せられる必要がありましたか。
4. 主イエスさまは、死ぬ必要がありましたか。
5. 神さまの民は、罪を犯しましたか。
6. 神さまの民は、死んで、地獄に行かなくてはなりませんでしたが。
7. しかし神さまの民は、天国に行くのです。なぜだかわかりますか。
8. 主イエスさまは十字架で死なれました。どうしてイエスさまが死なれたのか知っていますか。
9. 主イエスさまは、ご自分の民のために、何をされましたか。

質問23： 主イエスさまは、再び生き返られましたか。

答： はい、再びよみがえられて、天に行かれました。

補足の質問：

1. 死んだ人を見たことがありますか。
2. 死んだ人は、目を覚まして歩くことができますか。
3. お医者さんは、死んだ人を再び生き返らせることができますか。
4. 主イエスさまは死なれましたが、再び生き返られたことを知っていますか。
5. 主イエスさまが何日間お墓にいらっしゃったのか知っていますか。何日目によみがえられましたか。
6. イエスさまが死からよみがえられた後にイエスさまを見たイエスさまの友達の何人かの名前を言うことができますか。
7. イエスさまはよみがえられた後、何日後に天に行きましたか。
8. イエスさまはどのようにして、天にのぼって行かれたのか知っていますか。
9. あなたも、天にのぼって行くことができますか。

質問24： 神さまはご自分の民を、その罪のために罰しますか。

答： いいえ、イエスさまが彼らの代わりに罰を受けられました。

補足の質問：

1. あなたが悪い子で、お母さんが叩かなくてはいけなかったことがありますか。
2. お母さんが叩いた後で、お父さんも再び叩きましたか。〔予期しないような答えが出ることもあると知っていてください。しかし、一度罰せられたら、その後再び罰が与えられるべきではない、という考えに導いてください。〕
3. 神さまの民は罰を受けて当然であると思いますか。〔はい。私たちの最初の先祖であるアダムが罪を犯し、アダムのために、私たち全てが罪人であると聖書が教えているからです。〕
4. でもあなたは、神さまの民が死んだ後どこに行くのか知っていますか。
5. どうして彼らは地獄に行かないと思いますか。
6. 主イエスさまがどれだけ私たちを愛してくださっているのか、分かりますか。

質問25： キリストの働^{はたら}きは、どのようにキリストの
民^{たみ}にもたらされますか。

答： 聖霊^{せいれい}さまによつてです。

補足の質問：

1. 主イエス・キリストが、ご自分の民のために何をしてくださったか覚えていますか。
2. 主イエス・キリストが死なれた時、ご自分の民のために贈り物を買ってくださいました。この贈り物が何と呼ばれているのか知っていますか。〔永遠の命です。〕
3. あなたが遠くに住むお友達に贈り物をあげたいとしたら、どうすればよいですか。〔郵便局から送ります。〕
4. 主イエスさまは、私たちから「遠く離れた」天に行かれました。主イエスさまは私たちのために買ってくださいました贈り物を、どのようにして送ってくださいましたのでしょうか。〔聖霊さまによつて送ってくださいました。〕
5. あなたは聖霊さまがどなたか知っていますか。〔神さまです。〕
6. 聖霊さまを見るのが出来ますか。あなたは聖霊さまを触ることは出来ますか。
7. 私には聖霊さまを見ることも触ることもできません。しかし、聖霊さまは私をととても幸せにしてくださいます。どうしてだか知っていますか。〔贈り物をもらうと、しばしば幸せな気持ちになることを説明してください。〕

質問26： せいれい なに 聖霊さまは何をされるのですか。

答： しんこう あた 信仰を与えます。

補足の質問：

1. ヨハネはクリスチャンです。ユダはクリスチャンではありません。ヨハネにはあって、ユダにはないものは何だか知っていますか。お金ですか。家ですか。信仰ですか。
2. 聖書には、「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によってつくわれたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」（エペソ2：8）と書いてあります。信仰は、賜物(贈り物)です。どなたが信仰をヨハネにくださったのか知っていますか。[聖霊さまです。]
3. ヨハネは信仰をいただくのに、何か支払いをしなくてははいけませんでしたか。[いいえ。]
4. どなたが支払ってくださったのですか。[主イエス・キリストです。]

質問27： 信仰しんこうとは何なんですか。

答： キリストをしん信じることです。

補足の質問：

1. 聖霊さまが何をなさるのか、覚えていますか。 [信仰を与えます。]
2. 信仰とは何か知っていますか。 [信仰とは、キリストを信じることです。]
3. キリストを信じるとは、どういうことですか。 [キリストが神さまの御子であるということ、そして、キリストが私を神さまの子供とするために、私の罪のために死んでくださった、ということを知ることです。]
4. 皆が信仰を持っているのでしょうか。 [いいえ、クリスチャンではない人には信仰がありません。]
5. あなたには信仰がありますか。あなたはキリストを信じていますか。

質問28： どのようにして私^{わたし}たちが本当^{ほんとう}にキリストを
信^{しん}じていると知^しることができますか。

答： 私たちはよい行^{おこな}いをしたくなります。

補足の質問：

1. この世界には、自分がクリスチャンだという人が何人いるのでしょうか。10人でしょうか。100人でしょうか。1000人でしょうか。[もっと多くの人です。]
2. 自分がクリスチャンだという人が全て、本当にキリストを信じていると思いますか。[いいえ。イスカリオテのユダと魔術師シモン(使徒8章)は二人とも自分がクリスチャンだと言っていました。でも、彼らは本当にはキリストを信じていませんでした。]
3. 今日でも、本当の信者ではない人が多くいるのでしょうか。[はい。主ご自身が、主よ、主よと呼ぶ多くの者が終わりの日には主から拒まれる、とおっしゃっています。]
4. 本当の信者は、死ぬ時にどこに行くのか知っていますか。偽者の信者は、死ぬ時にどこに行くのか知っていますか。
5. あなたはどうやって自分が本当にキリストを信じているとわかりますか。
6. よい行いとは何ですか。[神さまの律法に従うこと、他の人々を助けることです。]
7. あなたはキリストを信じていますか。

質問29： キリストの民とはだれのことでしょうか。^{たみ}

答： ^{きょうかい}教会です。

補足の質問：

[これらの質問は、目に見えない教会のことではなく、目に見える教会についてです。目に見えない教会の概念は、幼い子供たちには難しすぎるかもしれないからです。]

1. キリストを信じる人々を何と呼びますか。 [クリスチャンと呼びます。]
2. 世界の全ての人々がクリスチャンでしょうか。
3. クリスチャンをどこで見つけることができますか。 [教会です。]
4. 神さまの民は全ての教会にいるのでしょうか。 [いいえ。本当の教会と偽の教会とがあります。]
5. どのような教会には神さまの民を見つけることができないのでしょうか。 [ローマ・カトリック教会、モルモン教会など。]

質問30： キリストは、^{きょうかい}教会に^{とく}特に^{なに}何を^{あた}与えてくださ
いましたか。

答： ^(バプテスマ)洗^{しゅ}礼と^{ばんさん}主の晩餐です。

補足の質問：

1. あなたは洗礼を受けましたか。説明できますか。
2. 子供や大人が洗礼を受けるのを見たことがありますか。
3. 主の聖餐とは何か知っていますか。説明できますか。
4. 聖餐式であなたは、パンを食べ、ぶどう酒を飲みますか。
5. パンとぶどう酒をいただきたいと思いませんか。

質問31： ^(バプテスマ) 洗 礼 は、 ^{わたし} 私 たち に ^{なに しめ} 何を示していますか。

答： ^{わたし} 私 たち が ^{たみ} キリスト の 民 である、 ということ
です。

補足の質問：

1. 洗礼で用いられる水が、何を表しているのか知っていますか。 [キリストの血とキリストの御霊です。]
2. 世界中の人が皆、キリストの血によって洗われるのですか。 [いいえ。]
3. だれがキリストの血によって洗われるのですか。 [神の民です。]
4. 世界中の人皆が、キリストの御霊を持っているのですか。 [いいえ。]
5. キリストの御霊を持っている人々とは、だれですか。 [神の民です。]
6. 洗礼は、私たちに何を示していますか。

質問32： 主しゅの晩餐ばんさんは、私わたしたちに何なにを示しめしていますか。

答： キリストが私わたしたちのために死しんでくださった、ということです。

補足の質問：

1. 聖餐式では、何なにがなされますか。
2. パンは、何なにを表あらわしていますか。 [キリストの体です。]
3. パンを裂ひくことは、何なにを表あらわしているのですか。 [キリストの体からだが私わたしたちのために裂ひかれたことです。]
4. 主しゅの晩餐ばんさんのぶどう酒ぶどうしゅは何なに色いろですか。
5. ぶどう酒ぶどうしゅは何なにを表あらわしているのですか。 [キリストの血ちです。]
6. いつキリストの体からだが裂ひかれ、血ちが流ながされたのですか。
7. 主しゅの聖餐せいさんは、私わたしたちに何なにを示しめしていますか。

質問33： ^{きょうかい} 教会の ^{かしら} 頭はどなたですか。

答： ^{しゅ} 主イエス・キリストです。

補足の質問：

1. 牧師が教会の頭（かしら）ですか。
2. 長老が教会の頭（かしら）ですか。
3. 執事が教会の頭（かしら）ですか。
4. 主イエス・キリストが教会の頭（かしら）ですか。
5. 主イエス・キリストが教会の頭（かしら）であるなら、私たちはどうしなければなりませんか。〔主イエス・キリストに仕え、従わなくてはなりません。〕

質問34： キリストが^{きょうかい}教会に^{にんめい}任命した^{やくしょく}役職は何と何で
すか。

答： ^{ちやうろう}長老と^{しつじ}執事です。

補足の質問：

1. 私たちの教会には何人の長老がいますか。
2. 長老は何をしますか。[教会を治め、教えます。]
3. 私たちの教会には何人の執事がいますか。
4. 執事は何をしますか。[彼らは教会のお金を管理することでキリストの憐れみを分配します。]

質問35： キリストの^{きょうかい}教会は^{かんぜん}完全ですか。

答： いいえ、まだ^{かんぜん}完全ではありません。

補足の質問：

1. 「完全である」とはどういうことか知っていますか。
2. あなたは完全ですか。
3. なぜあなたは完全ではない、と言うのですか。
4. キリストの教会は、今、完全ですか。
5. なぜ教会が完全ではないと、私たちに分かるのですか。
6. 完全な教会とは、どのようなものだと思いますか。
7. 私たちも、いつか完全になるのですか。 [はい。聖書がそう教えています。]

質問36： いつキリストの^{きょうかい}教会は^{かんぜん}完全になるのですか。

答： よみがえり^{ふっかつ}(復活)のときです。

補足の質問：

1. 墓地に行ったことがありますか。
2. お墓に埋められた人をだれか知っていますか。 (日本では火葬され、納骨された人)
3. その人の体がどうなったのか知っていますか。 [土になりました。] (日本では灰に)
4. いつか、死んだ人たちが全てもう一度生き返るということを知っていますか。
5. その日が、よみがえり(復活)の日です。「よみがえり(復活)」と言えますか。
6. よみがえり(復活)とは、何ですか。 [死んだ人がみな、もう一度生き返る時のことです。]
7. その日には、生きている人々は、その体が変わられます。しかし、死んだ人々は新しい体をいただきます。
8. あなたはよみがえり(復活)の日は、幸せな日となると思いますか。 [ただクリスチャンにとってのみ、幸せな日となります。]

質問37： よみがえり(復活)^{ふっかつ}のときには、何が起きます^{なに お}か。

答： キリストがすべての人^{ひと}を裁^{さば}かれます。

補足の質問：

1. よみがえり(復活)とは何なのか覚えていますか。[死んだ人が生き返ります。]
2. よみがえり(復活)の日は幸せな日になるでしょうか。[クリスチャンにとっては、とても嬉しい日ですが、クリスチャンではない人には、悲しい日です。]
3. どうしてクリスチャンは嬉しくて、クリスチャンでない人は悲しくなるのか知っていますか。[キリストが全ての人々を裁かれるからです。]
4. キリストが全ての人を裁かれる、とは、どういう意味でしょうか。[先生が私たちの宿題を採点するように、キリストが皆の行いを採点されるようなものです。]
5. キリストが、人々を二つのグループに分けられます。羊が右側で、ヤギが左側です。クリスチャンは羊です。私たちは右側に行きます。あなたは、右側に行きますかそれとも、左側ですか。
6. 羊とは、キリストが救ってくださる人々です。ヤギとは、キリストが罪と定められる人々です。あなたは、羊ですかそれともヤギですか。

質問38： キリストが救^{すく}ってくださる人々は、どうなり
ますか。

答： 天国^{てんごく}でキリストと共に永遠^{とも えいえん}に生き^います。

補足の質問：

1. よみがえり(復活)のときに、キリストが羊とヤギを分けられることを覚えていま
すか。
2. ヤギとはだれのことですか。[キリストが罪と定める人々です。]
3. 羊とはだれのことですか。[キリストが救ってくださる人々です。]
4. あなたは羊ですかヤギですか。
5. キリストが救ってくださる人々には、何が起こりますか。[キリストが彼らを天
国に連れて行ってくださいます。彼らは天国で、キリストと共に永遠に生きま
す。]
6. 天国がどんなところか、知っていますか。
7. あなたは天国に行きたいですか。

質問39： キリストが罪^{つみ}と定め^{さだ}る人々^{ひとびと}は、どうなりますか。

答： 地獄^{じごく}で永遠^{えいえん}の死^しを味^{あじ}わいます。

補足の質問：

1. よみがえり(復活)のとき、全ての死んだ人々に体が与えられることを覚えていますか。
2. クリスマスは、傷や痛みのない幸せな体で、天国を楽しむことになります。あなたもそんな体が欲しいですか。
3. クリスマスではない人々はどうでしょうか。彼らがどんな体を持つようになるのか知っていますか。 [彼らはたくさんの傷や痛みのある体をもつことになります]
4. 彼らは、その体と共に地獄に投げ入れられます。なぜだか知っていますか。 [彼らはその体と魂で神さまに罪を犯したので、神さまは彼らの体と魂を罰せられるからです。]
5. 地獄がどんなところか、知っていますか。
6. 地獄では、だれか幸せな人がいると思いますか。
7. あなたは地獄に行きたいですか もし行きたくないのなら、どうしなければいけませんか。

質問40： 神さまの律法を、どこで見つけることができますか。

答： 十戒に見つけることができます。

補足の質問：

1. あなたのお母さんとお父さんには、あなたが守らなければならないルールがありますか。
2. 神さまにも、私たちのためのルールがあります。このルールが何と呼ばれているのか知っていますか。〔律法や戒めと呼ばれます。〕
3. 神さまの律法は十戒にあります。聖書のどこに十戒を見つけることができるのか知っていますか。〔出エジプト記20章です。〕
4. 十戒は、私たちにとって、とても大切です。魚たちにとって水槽の水が大切であるのと同じくらい大切です。魚を捕まえてテーブルの上に置くと、どうなるか知っていますか。
5. 私たちが神さまの戒めを守らないと、私たちは水から出た魚のようです。どうなるか知っていますか。

質問41： 十戒は、私たちに何を教えていますか。

答： 神さまを愛することと、ほかの人々を愛することです。

補足の質問：

1. お父さんを愛していますか。
2. どうしたらお父さんを怒らせてしまうか知っていますか。〔お父さんに従わなかったり、兄弟やほかの人と喧嘩をしたりすると、怒らせてしまいます。〕
3. あなたはお父さんを愛しているということを、どうやってお父さんに示すことができますか。〔お父さんに従い、兄弟たちを愛することによってです。子供が『抱きしめることによって』と言うかもしれませんが、悪い子の時は、お父さんは抱きしめてくれない、ということが分かるように助けてください。〕
4. 神さまを愛しているということを、どのように示しますか。〔神さまの戒めを守ることによってです。〕
5. ほかの人を愛しているということを、どのように示しますか。〔これも、神さまの戒めを守ることによってです！〕
6. 十戒には、いくつの戒めがありますか。〔十です。〕
7. いくつの戒めが、私たちに神さまを愛するように教えているのか知っていますか。〔四つです。〕
いくつの戒めが、私たちにほかの人々を愛するように教えているのか知っていますか。〔六つです。〕

質問42： ^{だいいち} 第一の ^{いまし} 戒めは何ですか。

答： 「あなたには、わたしのほかに、ほかの神々^{かみがみ}があってはならない。」です。

補足の質問：

1. あなたにはお父さんが何人いますか。 [一人だけです。]
2. お父さんに、「もうあなたには私のお父さんでいて欲しくありません。 ____さんにお父さんになってもらいたいです。」とすることができますか。あなたがそんなことを言ったら、お父さんは喜ぶでしょうか。
3. 神さまは何人いらっしゃいますか。 [唯一真の神さまだけです。]
4. 木や石でできた偶像はどうでしょうか。 [偽者の神々です。]
5. 私たちは偽者の神々にお祈りするべきでしょうか。私たちは偽者の神々に従うべきでしょうか。 [いいえ、これらの偶像は私たちの言うことを聞くことができません。それらは死んでいて、力もありません。]
6. 偽者の神々に私たちが祈ると、神さまは喜ばれると思いますか。

質問43： 第二の戒めは何ですか。

答： 「あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。・・・それらを拝んではならない。」です。

補足の質問：

[第二の戒めは礼拝の仕方に関するものであり、神さまの礼拝のために定められていないどんなことでも禁じられている、ということも含まれています。しかし、この時点では、像は礼拝で用いられてはならないという事実に触れるだけにします。]

1. 像とは何だか知っていますか。[人の形や写真を見せたるのもよいかもしれません。]
2. あなたは神さまの像を造ることができるでしょうか。神さまの写真を撮ることができるでしょうか。[子供は、神さまを描いたものとする絵や写真を見せられたことがあった場合、『はい』と答えることがあるかもしれません。その場合は、すぐに誤りを正すことが大切です。]
3. 神さまがどんなお姿をしていらっしゃるのか知っている人はだれもいません。どうしてだか知っていますか。神さまを見たり、神さまの写真を撮ったりすることはできない、ということを知っていますか。[神さまは霊であり、私たちのような体は持たれないからです。]
4. 私たちは、神さまがどんなお姿をしていらっしゃるのか知らないのですから、神さまの像を造るべきでしょうか。
5. 神さまの像を造ろうとする人々に、神さまはとても怒っていらっしゃいます。これが、第二の戒めが私たちに教えていることなのです。なのに、神さまの絵を描くべきでしょうか。
6. 教会には、イエスさまの絵や像があるべきだと思いますか。

質問44： ^{だいさん} ^{いまし} ^{なん} 第三の戒めは何ですか。

答： 「あなたは、あなたの神、【主】の御名を、
みだりに^{とな}唱えてはならない。」です。

補足の質問：

[『神さまの御名』というのは、神さまがご自分を知らせてくださる全てのことを含みますが、ここでは、最も直接的な意味に限るようにします。]

1. あなたの苗字は何ですか。あなたの苗字は、あなたのお父さんの苗字でもあることを知っていますか。あなたは、あなたのお父さんのお名前を持っています。
2. お父さんは、あなたが自分の苗字を好きではない、と言ったら嬉しいでしょうか。
3. 神さまのお名前を知っていますか。[主、イエス、キリストなど。]
4. あなたは神さまのお名前を持っているのを知っていますか。あなたはクリスチャン（キリスト者）ですか。[あなたの子供さんは『はい』と答えることを知っているはずです。] あなたはクリスチャン（キリスト者）として、主イエス・キリストのお名前を持っているのです。
5. あなたは、イエスさまのお名前を持っているのに、クリスチャンではないような行ないをしたら、主イエスさまは喜ばれると思いますか。

質問45： ^{だいよん} 第四の ^{いまし} 戒 ^{なに} めは何ですか。

答： 「^{あんそくにち} 安息日 ^{おほ} を覚 ^{せい} えて、これ ^ひ を聖なる日とせよ」
です。

補足の質問：

1. 一週間は何日ですか。
2. どの日がクリスチャンの安息日ですか。 [日曜日です。]
3. 安息日のもう一つの名前を知っていますか。 [主の日です。]
4. 安息日は、なぜ主の日と呼ばれるのでしょうか。 [その日は主のものだからです。]
5. 安息日には何をしなくてはいけませんか。また、安息日には何をしたらいいませんか。

質問46： ^{だいご} ^{いまし} ^{なん} 第五の戒めは何ですか。

答： 「あなたの父^{ちち}と母^{はは}を敬^{うやま}え。」です。

補足の質問：

1. あなたのお父さんはだれですか。あなたのお母さんはだれですか。お父さんとお母さんはあなたを愛していますか。
2. 第五の戒めはあなたに、あなたのお父さんとお母さんを敬わなくてはいけない、と教えています。「敬う」とはどういうことか知っていますか〔尊敬し、愛し、従うということです。〕
3. お父さんをどのように敬いますか。〔お父さんを愛し、従うことによってです。〕
4. お父さんがあなたに、何かをするように頼んで、あなたがそれをすぐにしなかったら、それはお父さんを敬うことになりますか。
5. お母さんが台所からあなたを呼んで、あなたが聞こえない振りをしたら、それはお母さんを敬うことになりますか。
6. あなたの両親を敬うためにできることを、何か考えられますか。

質問47： ^{だいろく} 第六の ^{いまし} 戒 ^{なん} めは何ですか。

答： ^{ころ} 「殺してはならない。」です。

補足の質問：

1. 蟻を殺すことができますか。殺すと、蟻はどうなりますか。
2. 神さまは私たちが蟻やゴキブリを殺してはならない、と仰っているのではありません。神さまは他の人を殺してはならない、と言われているのです。人がだれかを殺すことを何というか知っていますか。[殺人です。]
3. 神さまは私たちに、殺人をしてはいけない、と教えておられるのです。
4. 神さまはまた、私たちが喧嘩をしたり争ったりしてはいけない、とも仰っています。もしお兄ちゃんやお姉ちゃん、弟や妹と喧嘩をしたら、どの戒めを破っているのでしょうか。
5. 教会で二人の男の子が争っているのを見たら、彼らに何と言ってあげなくてはいけませんか。[あなたは殺してはなりません。]
6. あなたがだれかと争ったら、どうしなくてはいけませんか。[その人と神さまに、赦してくれるようお願いしなければいけません。]

質問48： ^{だい}なな ^{いまし} ^{なん} 第七の戒めは何ですか。

答： ^{かんいん} 「姦淫してはならない。」です。

補足の質問：

1. 第七の戒めは私たちに、男の人と女の人には結婚していなければ同じ寝室で寝ることはできないということを教えてください。
2. お父さんは男の人ですか女の人ですか。お母さんは男の人ですか女の人ですか。
3. お父さんとお母さんは同じ寝室で寝ていますか。どうしてですか。[結婚しているからです。]
4. 第七の戒めはまた、わたしたちはふさわしい服装をしなくてはならない、とも教えてください。どのような服装をするべきか言ってくれますか。

質問49： 第八の戒めは何ですか。

答： 「盗んではならない。」です。

補足の質問：

1. 盗むとはどういうことが知っていますか。〔許可なしに、他の人から何かを取ることです。〕
2. 何かを盗む人のことを何と呼びますか。〔泥棒とか強盗と呼びます。〕
3. 教会のオフィスに甘い物の瓶を見つけたとします。許可なしに甘い物を取ってもいいですか。もし取ったら、どの戒めを破ることになりますか。
4. あなたの兄弟の戸棚を開けて、いいかどうかきかずにおもちゃを出して遊ぶことは正しいことでしょうか。〔もし子供に兄弟がいない場合は、状況に応じて質問を変えてください。〕
5. もし許可なしに何かを取ってしまったら、どうしなくてはいいませんか。〔その物を返して、神さまに私の罪を赦していただくようお願いしなくてはいいません。〕

質問50： ^{だいきゅう} 第九の ^{いまし} 戒めは何ですか。

答： 「^{いつわ} 偽りの ^{しょうげん} 証言をしてはならない。」です。

補足の質問：

1. 偽りの証言をするとはどういうことか知っていますか。[嘘をつくことです。]
2. 嘘をつく人のことを何と呼びますか。[嘘つきと呼びます。]
3. あなたが兄弟と喧嘩をして、あなたが先に相手をぶったとしたら、お父さんに、兄弟があなたを先にぶった、と言っていいでしょうか。そう言ったら、あなたは何をしていることになりますか。
4. あなたが壁に落書きをしたとして、お母さんが、あなたがそれをしたかどうか聞きます。あなたは、お母さんに何と言わなくてはいけませんか。もしお母さんが落書きのためにあなたをお仕置きするとしたら、あなたは落書きをしなかった、とお母さんに言ってもいいですか。
5. 嘘をついてしまったら、どうしなくてはいけませんか。[本当のことを言って、神さまに私の罪を赦してくださるようお願いしなくてはいけません。]

質問51： 第十の戒めは何ですか。

答： 「欲しがってはならない」です。

補足の質問：

1. ここで「欲しがる」とはどういう意味か知っていますか。〔何かが欲しくて欲しくて、そのことばかり考えていることです。〕
2. あなたが甘いお菓子が食べたくても、お母さんが駄目だと言ったら、あなたはど
うしなくてははいけませんか。
3. お母さんがお菓子を食べてはいけない、と言って、あなたが足をドンドン踏み鳴
らして泣いたとしたら、あなたはどの戒めを破っているのですか。
4. お友達の持っているおもちゃを買って欲しいと、お母さんにしつこくお願いして
いるとしたら、あなたはどの戒めを破っているのですか。
5. あなたが何かをむやみに欲しがるとしたら、あなたはどしなくてははいけませ
んか。〔神さまに、私の罪を赦してくださるようお願いしなくてははいけませ
ん。〕

質問52： お祈りとは何ですか

答： 神さまとお話することです。

補足の質問：

1. あなたは神さまを見ることが出来ますか。 [いいえ、でも神さまには私を見ることが出来ます。]
2. あなたは神さまの声を聞くことが出来ますか。 [いいえ、でも神さまの言葉を教えてくれるメッセージを聞くことが出来ます。]
3. 神さまはあなたの言っていることを聞くことができると思いませんか。 [はい、神さまは私を見ることができると同じように聞くことが出来ます。]
4. 神さまはあなたを愛しておられます。神さまは、神さまにお話するあなたの声を聞きたがっておられると思いませんか。
5. お母さんとお父さんがお祈りするのを聞いて、あなたもどのように神さまにお話したらいいのかを学ぶことが出来ます。神さまにお話したいと思いませんか。